

# 3要素ごとの取組の類型

## コンパクト

### ○施設の複合化・拠点化

- **ふじみ野市**（人と人とのつながりづくりの場となる複合文化施設を賑わい創出ゾーンに整備）



- **小川町**（小・中学校跡地を活用した、サテライトオフィス、コワーキングスペース、レンタルキッチン等を備える拠点の整備）



P.2

## スマート

### ○利便性の高いモビリティサービス

- **和光市**（拠点間を結ぶ自動運転サービスを含む最適な移動手段の提供）



### ○ドローンを活用した物資輸送

- **神川町**（町と民間企業2社でドローンを活用した地域課題解決に係る包括連携協定を締結、スマート物流構築に向け実証実験を実施）



P.3

## レジリエント

### ○再エネ導入等による災害時電源確保

- **さいたま市**（美園地区で住宅街区に設置した太陽光発電パネルと共用の蓄電池・EVによるエネルギーマネジメントを実施）



### ○EV活用

- **入間市**（太陽光発電とEVの導入による災害時の電源確保とCO2削減、EVカーシェアによる車両の効率的な利用と市民の利便性向上）



P.4

# コンパクト

## ○施設の複合化・拠点化

【ふじみ野市】 事業期間：H31.4～

- ・ 人と人とのつながりづくりの場となる複合文化施設を賑わい創出ゾーンに整備
- ・ 予算規模：116億2,246万円\*
- ・ 活用財源：地方創生拠点整備交付金、地方債、公共施設整備基金
- ・ 運営主体：指定管理者(日本環境マネジメント(株))

ステラ・ウェスト



ステラ・イースト



\*ステラ・ウェスト、ステラ・イーストの建替え、大規模改修及びR19年度までの維持管理費

## ○施設の複合化・拠点化

### 公共空間活用による賑わい創出

【小川町】 事業期間：R4.6～

- ・ 小・中学校跡地を活用した、サテライトオフィス、コワーキングスペース、レンタルキッチン等を備える拠点の整備
- ・ 予算規模：1億4,500万円 (R4年度)
- ・ 活用財源：SSCP補助金、デジ田交付金、コロナ臨時交付金、企業版ふるさと納税
- ・ 運営主体：(株) おいでなせえ



## ○公共空間活用による賑わい創出

【杉戸町】 事業期間：R2.10～

- ・ 地域経済の活性化、エリア価値や住民満足度の向上のため、町がまちづくりに賛同する事業者と連携し、道路や公園、河川などの公共空間を活用した社会実験を実施
- ・ 予算規模：社会実験に町予算は非計上



## ○ウォーカブルなまちづくり

【上里町】 事業期間：R2.9～

- ・ 道路等の整備に併せて神保原駅周辺の賑わいを創出するため、ワークショップ、勉強会、イベントの開催等により、歩いて楽しめるまちづくりを官民連携で推進
- ・ 予算規模：4,500万円 (R5年度)
- ・ 活用財源：官民連携まちなか再生推進事業



## ○エリアマネジメントの推進

【白岡市】 事業期間：R4.8～

- ・ 市民等が主体的に地域課題の解決などに取り組むエリアマネジメントにより、地域の賑わいの創出や生活利便性の向上を図り、地域の価値の向上につなげる
- ・ 予算規模：509万円 (R5年度)
- ・ 活用財源：ふるさと創造資金



## ○団地・商店街の活性化

【北本市】 事業期間：R2～

- ・ 市や民間企業、地域のプレイヤーなど5者が連携し、団地内商店街の空き店舗を活用した拠点整備等により地域を活性化
- ・ 予算規模：189万円 (R2年度)
- ・ 活用財源：ふるさと納税型クラウドファンディング



# スマート

## ○利便性の高いモビリティサービス

【和光市】 事業期間：R2.7～

- 拠点間を結ぶ自動運転サービスを含む最適な移動手段の提供
- 予算規模：7億1,670万円（R2～R5年度）
- 活用財源：デジ田交付金、社資交付金、地域公共交通DX等促進事業



## ○利便性の高いモビリティサービス

【秩父市・横瀬町の広域連携】 事業期間：R5.1～

- 横瀬町で導入済みのAIデマンド運行システムを秩父市の乗合タクシーにも導入。運行ルートのも適化により配車を効率化し、利用者の利便性を向上。
- 予算規模：1,276万円（R4年度）
- 活用財源：デジ田交付金



## ○ドローンを活用した物資輸送

【神川町】 事業期間：R5.3～

- 町と民間企業2社でドローンを活用した地域課題解決に係る包括連携協定を締結、スマート物流構築に向け実証実験を実施
- 予算規模：実証実験に係る費用は民間企業が負担しており、町予算は非計上



## ○データ活用によるまちづくり

【熊谷市】 事業期間：R4.1～

- 都市ポータルアプリ「クマぶら」を入り口として様々な情報・サービスを提供。データ分析によりサービス向上を図る。
- 予算規模：2億9,237万円（R5年度）
- 活用財源：SSCP補助金、デジ田交付金



## ○医療・福祉サービスの充実

【長瀬町】 事業期間：R4.11～

- 移動販売車を活用し、店舗の薬剤師や管理栄養士等とのオンライン健康相談を実施
- 予算規模：400万円（R4年度）
- 活用財源：コロナ臨時交付金



## ○スマート農業

【深谷市】 事業期間：R1.3～

- アグリテック集積戦略を策定し、企業と地元農家をマッチングした実証実験の実施等により、アグリテック企業を誘致
- 予算規模：7,229万円（R5年度）
- 活用財源：ふるさと納税



# レジリエント

## ○再エネ導入等による災害時電源確保

【さいたま市】 事業期間：R3.1～R4.2 ※整備期間

- 美園地区で住宅街区（51戸）に設置した太陽光発電パネルと共用の蓄電池・EVによるエネルギーマネジメントを実施
- 予算規模：事業者主導の取組であり、エネルギーマネジメントの取組に市予算は非計上



## ○再エネ導入等による災害時電源確保

【久喜市】 事業期間：R3.11～

- 太陽光発電パネルやEVからの非常時給電システムを備えた172戸のZEH\*の建築による戸建街区の形成
- 予算規模：事業者主導の取組であり、市予算は非計上



\*太陽光などで創り出すエネルギー量が、家庭で消費するエネルギー量を上回することで、ひとつの住宅の年間のエネルギー消費量を正味でゼロ以下にする住まいのこと

## ○EV活用

【入間市】 事業期間：R5.2～

- 太陽光発電とEVの導入による災害時の電源確保とCO<sub>2</sub>削減、EVカーシェアによる車両の効率的な利用と市民の利便性向上
- 予算規模：1,568万円（R5年度）
- 活用財源：CO<sub>2</sub>排出抑制対策補助金、地方債等



## ○EV活用

【新座市】 事業期間：R5.5～

- 西武バス(株)と災害時にEVバスを避難所等へ派遣する協定を締結し、災害時の電源として活用
- 予算規模：事業者との協定による取組のため、市予算は非計上



## ○EV活用

【鳩山町】 事業期間：R3.9～

- 公用車の電気自動車化により、災害時に可搬型給電器を用いて電力を供給
- 予算規模：215万円（R3年度）
- 活用財源：コロナ臨時交付金



## ○ドローンを活用した物資輸送

【秩父市】 事業期間：R2.11～

- 民間企業と連携して災害発生時・平時におけるドローン配送の実証実験を実施するとともに、道の駅大滝温泉にドローンポートを整備
- 予算規模：950万円（R4年度）
- 活用財源：デジ田交付金



## (参考) 活用財源正式名称及び所管部署

略称表記	正式名称	所管部署
SSCP補助金	埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金	県エネルギー環境課
—	ふるさと創造資金	県地域政策課
地域公共交通DX等促進事業	地域公共交通DX・コンパクト+ネットワーク促進事業	県交通政策課
デジ田交付金	デジタル田園都市国家構想（推進）交付金	内閣府
コロナ臨時交付金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	内閣府
CO <sub>2</sub> 排出抑制対策補助金	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	環境省
社資交付金	社会資本整備総合交付金	国交省
—	官民連携まちなか再生推進事業	国交省